



ほほえみ

第301号

令和5.11.1発行

シミのメカニズム

11月のテーマ シミについて

皮膚は、一番外側の表皮とその内側の真皮からできています。

シミに関わる表皮はメラノサイト(表皮細胞)と表皮の一番下の基底層にあるメラノサイト(色素細胞)などから成っています。

紫外線を浴びるとチロシナーゼという酵素が活発になってメラノサイト内でメラニンを生成します。

皮膚の細胞は約6週間周期で新しい細胞に生まれ変わる「ターンオーバー」新陳代謝をくり返しています。ところが様々な原因でメラニンが過剰に作られ、ターンオーバーのサイクルが滞ると、本来は外へ落ちるはずのメラニンも滞り、色素沈着＝シミとよびます。

原因

紫外線

長年紫外線を浴びつづけると肌ダメージを受け、皮膚細胞の再生力の低下がおきます。

不規則な生活

血流の悪化によりメラニンの排出が遅れます。

タバコやストレス

老化を促す原因の一つである活性酸素が増え、メラノサイトがメラニンの過剰産生をひき起こします。



診断と治療

このシミは何だろう?と診断を希望の場合、皮膚科を受診しましょう。シミの性状と拡大鏡(ダーモスコピー)で確認します。必要時皮膚の一部を採取する皮膚生検や手術で病理検査を行い診断します。

シミを長年放置し続けるとイボ状に隆起する脂漏性角化症(老人イボ)や紫外線によってかさかさのように隆起する日光角化症(光老化)になることがあり隆起部を液体窒素で治療することができます。しかし、紫外線や加齢が原因のシミの治療は、美容の範囲とより美容外科や美容皮膚科(自由診療)でハイドロキノンなど薬物療法やレーザー治療、ケミカルピーリングなどを行います。

まれに、シミに似て症状で基底細胞癌や悪性黒色腫といった皮膚癌の可能性もあります。

